

「全鍍連」 2016年 7月号 いきいき地域

全鍍連情報・国際委員 福井 通人（福井電化工業(株) 専務取締役）

「環境整備」

弊社は以前より 5S に力をいれ、作業改善等に力を入れています。2006 年のある日、弊社社長がとあるセミナーに参加後、環境整備と称し、毎朝始業後から 20 分間全員で掃除をすると決定しました。それまで掃除は始業前にさっさと行っており、自動機の稼働時間を削るということに、困惑が隠しきれませんでした。急に現場で実施するのはさすがに困難でしたので、始めの半年は事務所で運用がきまりました。幹部全員一泊二日の研修に計 5 回参加し、掃除方法や考え方を学びました。個人別に毎日違うところを掃除する様に環境整備計画表で決められた場所を徹底的に磨きこみます。半年経ち、管理職が大体掃除方法を覚えてから、現場での運用が始まりました。

幹部が先頭に立ち、毎日掃除を全員で行うので、工場はみるみるキレイになりました。朝、いつ誰がどこを清掃したか見える化し、トイレ掃除した人は名前と写真の入ったカードを置きました。

環境整備中はおしゃべり自由です。社内のコミュニケーションもよくなりました。

さらに月に一回、環境整備委員と社長が職場の巡回点検を行い、減点方式で各職場の順位を決め、半期に一度賞金がでます。環境整備点検の鉄の掟は「抜き打ち点検はしない」ということです。事前に日程を決め社員は点検項目部分を必死に掃除します。そうすると毎月 1 回は点検箇所がキレイになります。

私の机の上も、環境整備点検の際は書類もホコリもないキレイな机になるんです。それでいいのかと思われるかと思いますが、良いのです。環境整備とは、仕事のしやすい環境を整える事です。そこで、会社の全てのスイッチにテプラ表示をして誰でも何のスイッチで「常時 ON」なのか、「終了時 OFF」なのか分かる様にしました。それまでは、担当者が朝出社時にスイッチを入れ、終業時に切って帰っていましたが、担当者がいない時や、切り忘れがあっても誰も気づかない状態でした、今から考えると恐ろしいですね。

次に取り組んだのは、工場はショールーム、明るい笑顔と元気な挨拶です。これが一番大変です。毎日朝礼後に練習し、環境整備点検時には、挨拶点検も行います。皆、大きな声は出るのですが、顔が怖いのです。今年で 10 年が経ち、ようやく笑顔で挨拶が出来る様になってきました。

環境整備はやり続ける事に意味があります。我社はこれからも環境整備に取り組んで行きたいと思っています。

（福井電化工業株式会社専務取締役）

